

ふじみサラダボール子育て情報

「育児と生活」

令和5年1月11日号



板橋富士見幼稚園



毎日を楽しく笑顔で過ごす

人間の発達する速度は、幼児期の成長が最も著しく、幼児期の1年は他の時期のおよそ3年分の成長に匹敵すると考えられています。例えば、身長は平均50 cmで誕生しますが、1年後にはおよそ80 cm程になり30 cmも伸びます。体重も、3500gから10 kgとなり、6 kg程増加します。1年間の成長の差を見ると、児童期や青年期の1年の成長と比べ、その速度は大変著しいものがあります。そのため、日に日に成長を遂げていく我が子に、「人として一つ一つできるようにしなくては」と思い、どうしても焦りを感じる人も多いのではないのでしょうか。

実は幼児期には不思議な力が備わっており、一つ一つ教えなくても、自分から学び取る力をとて強く持っています。「見よう見まね」と言う言葉があるように、他者を真似する力でぐんぐん学習していくのです。この学習力に気付かない大人がとて多いのも事実です。そのため、何気なく不条理なことを子どもの前でしていると、不思議なことにその行為（大人の癖）が、数ヶ月後に同じ行為（癖）として子どもに現れることがよくあります。つまり周囲の大人の行動がモデルとなって育ってしまうことがあるのです。その姿は、思わず笑ってしまう姿であったり、いやいやこればダメだよと思うような心配事となったりします。

そこで、いつも一緒に楽しく笑いある生活を心がけていくことをお勧めします。きちんと育てなくてはと思い、ついろいろ行動を教え込もうとしますが、親が物事をプラスに捉えながら生活を楽しんでいれば、子どもは自然とその姿を真似てくるものなのです。



日々親の表情が沈んでいると、子どもも沈んだ気持ちを学習してしまいます。毎日を明るく弾んで過ごしていると子どもも弾むものです。新しい年は、ウサギのごとく、ぴょんぴょん弾み、笑顔で楽しい家族愛を心がけてください。

【写真：とて寒い朝、水溜りに氷が張って、子どもたちは大喜びで手を伸ばしていました】